

代表質問

日本共産党高島市議員



高島の空を欠陥軍用機 オスプレイの練習場にさせるな

問 30回以上の重大事故を起こしたオスプレイ来演に強く反対し、市民の平穏な生活のため、次の点を問う。

答 日本政府から、安全性に対する結論が示されていません。飛来訓練参加に対する反対の意思表示はしていません。

問 防衛省は、市民への説明より、マスコミ報道を先んじた。市は毅然と意見したか。

答 市長 遺憾の意を伝えるとともに、防衛大臣への質問事項において、改めて見解を求めており、今後は地域へ丁寧な説明と誠意をもって対応する旨、回答がありました。

問 同機の危険性をどう認識しているのか。市長として、市民の生命と財産を守る立場で反対の意思表示をされたのか。



10月16日 日米共同訓練の様子

問 演習場外での共同訓練が懸念される。日米地位協定の見直しを求めるべきでは。

答 演習場外での訓練は、計画されていないと回答を得ています。この協定の運営や見直しは、日米両政府の合意のもとで進められるもので、市長として、見直しを求める立場ではないと考えます。

問 今後、饗庭野演習場でのオスプレイ発着場の常設に繋がらないか。

答 饗庭野演習場は、日米地位協定に定められる米軍施設でないことから、現段階ではできないものと考えます。

問 小学校統廃合方針について

答 一学年一クラス以上ないと切磋琢磨出来ない、学力も人格も伸びないというが、その根拠は。

答 教育長 集団の中で切磋琢磨する機会が育ちにくいと表現しているものであり、適正な数の学習集団の中で自己を高めていく教育が大切と考えます。

問 小規模校では、人間関係にまずいた時、クラス替えでの関係改善ができないとしているが。

答 利点と課題については、教育委員による授業見学や教職員から直接見聞きした内容を整理したものです。多くの仲間との出会いや経験から生きる力を育む教育は、小規模校では難しく、そのために一定規模の集団が必要になると考えます。

がある。利点と課題の再議論をすべきでは。これを最終案とせず、議会と市民意見、教育者の意見集約で、市民納得の修正案を出すべきでは。

答 特に修正が必要と判断したご意見については、最終方針に反映していきませう。

問 社会的孤立、孤独死：相談窓口の体制強化について

答 特に高齢者の生活環境は厳しく、窓口に寄せられる相談事案は深刻さを増している。相談窓口の役割を果たすことに課題はないか。問題解決への体制整備をすべきでは。

問 市内の教師からは「これを小規模校の課題にしたこと自体が、教職者として恥ずかしい」「クラス替えせずとも、互いを認め合って成長し合える関係を育てるのが教員の仕事だ」との意見は。

答 市長 市民からの相談連絡に基づき、訪問して相談に応じるとともに、必要に応じて市関係部署や関係機関等と連携した相談支援を行っています。

問 東京区内小学校でのアナフィラキシーショックによる死亡事故や、西宮市内小学校での加工食品見落とし事故後、当市の対応はどう変わったか。

答 県主催の研修会への参加、給食調理場内の混入防止対策の徹底、緊急時対応の体制の確立を進めています。

●用語解説
1. アナフィラキシーショック：急性の全身性かつ重度な過敏症アレルギー反応
2. アドレナリン自己注射：アナフィラキシーショックに対する補助治療

代表質問

高島公明会



大槻 ゆり子 議員

学童保育の充実

問 昨今、価値観の多様化や障がい児童の増加傾向からしても、学童保育に関する対応が追い付いていない。また、予算措置も十分でないと考え、次の点を問う。

答 市長 平成20年度の調査によると、放課後5時までは「友人宅や公園および自宅」が4割、その後は「自宅」が7〜8割、「塾などの習い事」が1割程度でした。

問 市内の学童保育の運営は非常に厳しい状況だが、市はどう考えているか。

答 国・県の補助事業を活用するとともに、施設共益費やひとり親家庭等の保育料減免分加算等、単独の支援措置を講じています。しかしながら、指導員の賃金の低さや、配置数について課題があることも承知しています。こうしたことを踏まえながら、適切な運営に向け、研究します。

問 子ども・子育て支援

答 教育長 増加傾向にある食物アレルギーを持つ児童生徒の事故を防ぐため、学校給食のあり方について問う。

問 市内の学校で食物アレルギーを持つ児童生徒、また、アドレナリン自己注射を保持する生徒数は、把握しているか。

答 教育長 5月1日現在、食物アレルギー症状のある児童生徒は54名、アドレナリン自己注射を携行している児童生徒は7名です。

問 食料アレルギー対策の充実について

答 教育長 増加傾向にある食物アレルギーを持つ児童生徒の事故を防ぐため、学校給食のあり方について問う。

問 市内の学校で食物アレルギーを持つ児童生徒、また、アドレナリン自己注射を保持する生徒数は、把握しているか。

答 教育長 5月1日現在、食物アレルギー症状のある児童生徒は54名、アドレナリン自己注射を携行している児童生徒は7名です。

問 市内の学校で食物アレルギーを持つ児童生徒、また、アドレナリン自己注射を保持する生徒数は、把握しているか。

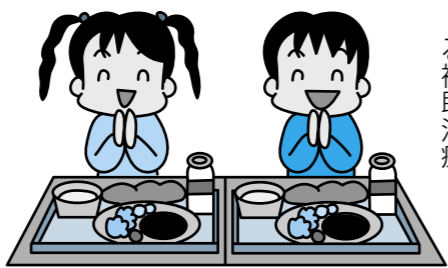
答 教育長 5月1日現在、食物アレルギー症状のある児童生徒は54名、アドレナリン自己注射を携行している児童生徒は7名です。

問 市内の学校で食物アレルギーを持つ児童生徒、また、アドレナリン自己注射を保持する生徒数は、把握しているか。

答 教育長 5月1日現在、食物アレルギー症状のある児童生徒は54名、アドレナリン自己注射を携行している児童生徒は7名です。

問 市内の学校で食物アレルギーを持つ児童生徒、また、アドレナリン自己注射を保持する生徒数は、把握しているか。

答 教育長 5月1日現在、食物アレルギー症状のある児童生徒は54名、アドレナリン自己注射を携行している児童生徒は7名です。



一般質問って何？

- 一般質問とは、議員が執行機関に対して、事務の執行状況や今後の方針を質問することです。
- 一般質問には、議員個人が質問する個人質問と、会派の代表者が質問する代表質問があります。
- 代表質問は、9月定例会と3月定例会に行われます。
- 議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。